

報道発表資料
平成29年10月11日
気象庁

霧島山（新燃岳）に
火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表

霧島山（新燃岳）では、本日（11日）05時34分頃に噴火が発生しました。その後も噴火が継続し噴煙量も増加しています。また、火山性微動も継続しており、振幅も次第に大きくなっています。地殻変動観測では、新燃岳山体が膨張する傾斜変動が継続しています。

今後、更に活動が活発になる可能性があることから、本日（11日）11時05分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

新燃岳火口から概ね2 kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

本件担当 地震火山部火山課
電話 03-3284-1749

霧島山(新燃岳) 噴火の時の監視カメラの映像

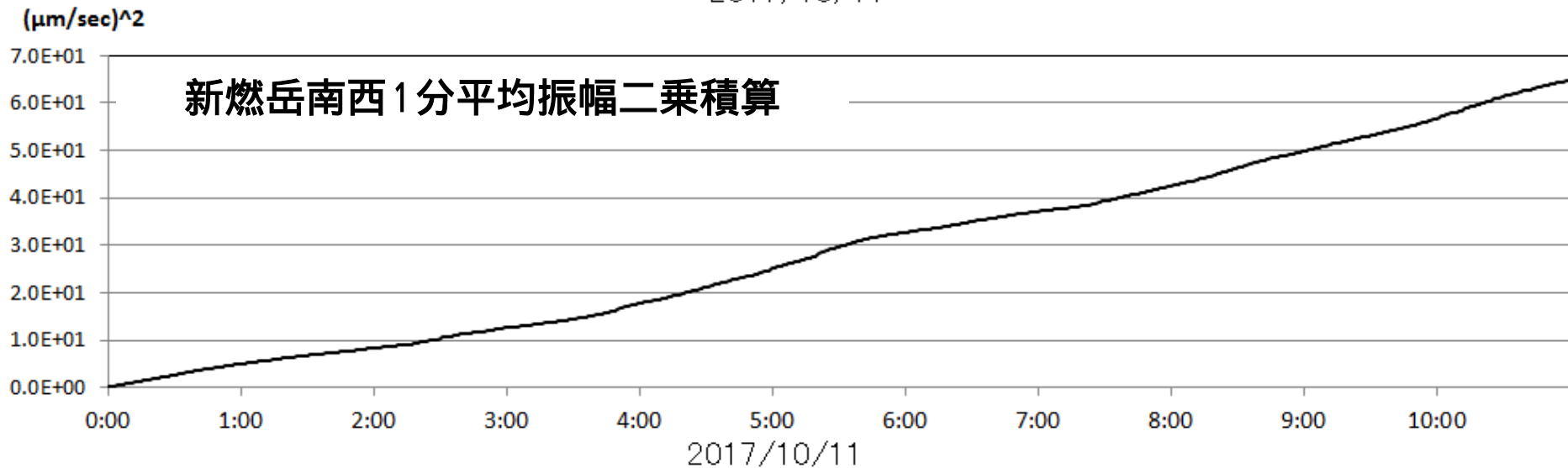
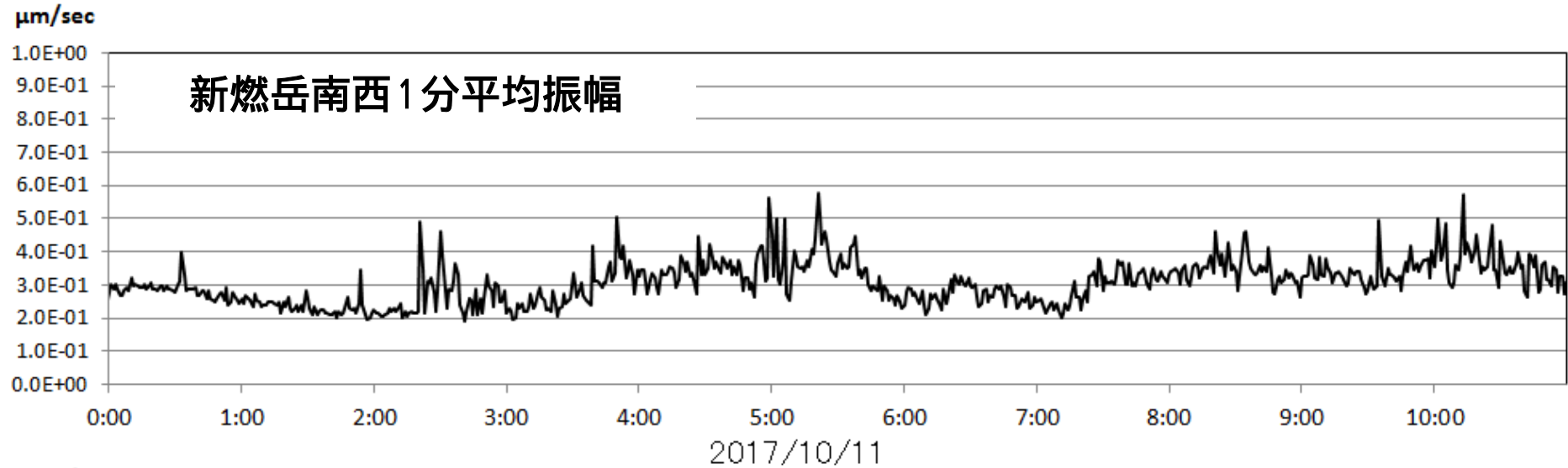
・新燃岳では、本日(11日)05時34分頃に噴火が発生しました。猪子石の監視カメラでは、灰白色の噴煙が火口縁上300mまで上がり、本日12時現在も継続しています。また噴煙の量も次第に増加しています。

噴煙量が多くなったため、10時から画角を広くしています



霧島山(新燃岳) 火山活動経過図

・火山性微動は、10月9日13時以降時々発生し、10日22時過ぎから発生した連続的な火山性微動の振幅は、本日(11日)03時以降消長を繰り返し、大きくなっています。



霧島山(新燃岳) 傾斜変動経過図

- ・9日15時12分頃に発生した火山性微動に伴う傾斜変動以降、新燃岳方向が隆起する傾斜変動が継続しています(図中青矢印)。

